

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|------------------------------------|-----------|------|-------------|----|---------|-----|-------|---------|
| 専門分野区分 | ビジネス応用 | 科目名 | ビジネス戦略演習 | | | | | | 科目コード | T1701A1 |
| 配当期 | 後期 | 授業実施形態 | 通常 | | | | | | 単位数 | 2 単位 |
| 担当教員名 | 吉田 育弘 | 履修グループ | 2F(BI/BO) | | | | | | 授業方法 | 演習 |
| 実務経験の内容 | 製造業(一部上場)の財務部門、経営管理部門、情報システム部門(延べ16年間)にて、部門マネージャーを歴任後、CFO(財務統括役員)補佐、CIO(情報統括役員)補佐として、経営をサポートする情報システム(例:経営管理システム、連結会計システム他)の企画、開発、運用を指揮。また、業務・システムの信頼性、安全性、効率性を向上させるべく、内部統制監査、システム監査を適時実施。独立後(20年間)、IT経営コンサルタントとして、各企業(製造業、サービス業他)に対し、経営とITの橋渡し、監査等の支援業務を実践。これらの実務経験に基づき、ビジネスモデルの構築、経営情報戦略の立案・実施など、基本的な知識、スキル、ノウハウを教示する。 | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | ビジネスパーソンの土台として、企業で遂行する業務(タスク)上、必要となる知識、技術を習得する。授業と自宅学習を通じて習得した基本的な知識を組み合わせる力、応用する力を養い、ビジネスの現場でも課題の洗い出し、改善策の提示、実行ができるという自信を持つことが目標となる。本科目は企業活動におけるビジネス戦略手法を把握し、新たなビジネスモデル構築に対する理解、評価、改善、そして実践できるようになることを目指す。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | テキストや資料をもとに、トピック、論点を解説した後、事例の問題点、経営改善に向けた解決策や戦略を全員で検討していく。各自、調査・検討した結果をとりまとめ、プレゼンテーションを実施。正解は1つとは限らないので、考えられる策をいくつも提案していく。少々、的外れな意見でも歓迎するので、「私はこう思う」といった自身の考えをどんどん発言して、活発な論議を展開していこう。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | サクッとわかる ビジネス教養 ビジネスモデル(新星出版社) | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 商業簿記Ⅰ、工業簿記で学習した基礎知識を有していることが望ましい。 | | | | | | | | | |
| 使用機器 | 電卓、ノートパソコン | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | 特に無し。 | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 1 | ビジネスモデル、戦略の基本概念が理解できる。 | | | | | | | | |
| | 2 | 標準的な業務プロセスを理解し、問題点、改善案を提示できる。 | | | | | | | | |
| | 2 | 興味のある業界・企業の調査・分析に習得内容を適用できる。 | | | | | | | | |
| | 2 | 分析結果から判断し、戦略を立案のうえ、意思決定に役立つ提言ができる。 | | | | | | | | |
| | 5 | 講義(論点の理解、発言、傾聴)に意欲を持って取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | | | | | |
| | | 2.思考・判断 | | | | | | | | |
| | | 3.態度 | | | | | | | | |
| | | 4.技能・表現 | | | | | | | | |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | | | |
| | 総合評価割合 | | | | | | | | | |

| 評価の要点 | |
|-------------|---|
| 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 |
| 試験 | 定期試験期間中に、ペーパーテストを実施する。 |
| 小テスト | |
| レポート | 興味のある業界・企業のビジネスモデル分析、改善案、新規立案などを取り纏め、要旨説明(プレゼンテーション)のうえ、提出する。 |
| 成果発表(口頭・実技) | |
| 作品 | |
| ポートフォリオ | |
| その他 | 授業に取り組む意欲・態度などを総合的に評価し、出席状況全般も評価する。 |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|--------------------------------------|-----------------|-------------|
| 第1回 | はじめに。ビジネス戦略とは。 | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第2回 | テキスト Section1 ビジネスモデルを構成する要素 | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第3回 | 要素①～⑤をもとに、成功・失敗事例の調査、分析 | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第4回 | 調査、分析の続き、取り纏め | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第5回 | プレゼンテーション | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第6回 | テキスト Section2 王道のビジネスモデルと特徴的なビジネスモデル | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第7回 | 業界ごとに王道・特徴的な仕組みを調査、分析 | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第8回 | 調査、分析の続き、取り纏め | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第9回 | プレゼンテーション | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第10回 | テキスト Section3 成長する企業に隠されたビジネスモデルの秘密 | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第11回 | 各社の差別化戦略、競争優位性をどのように構築したのか、調査、分析 | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第12回 | 調査、分析の続き、取り纏め | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第13回 | プレゼンテーション | 講義と質疑応答、課題演習 | 履修範囲の復習 |
| 第14回 | 課題解決型授業1 | 遠隔授業 実施時期:5期 | 別途指示 |

